

資源管理と高付加価値化による持続可能な べにずわいかにかご漁業を目指して —名古屋から新規就業、船頭としての挑戦！—

越前町漁業協同組合、福井県漁業士会 青年漁業士
山下 富士夫

1. はじめに

私が所属する越前町漁業協同組合における主な漁業は、定置網、底びき網、いかつりであり、中でも、主に越前がになどを漁獲する底びき網は、水揚げ量・金額ともに主力の漁業である。一方、現在、県内でべにずわいかにかご漁業に従事しているのは私の大喜丸 1 隻のみで、近年の年間水揚げ量は約 60-80 トンで推移している。私はもともと名古屋市出身であるが、船頭の長女との結婚を機に越前町に移り住み、平成 20 年より船頭のもとでベニズワイガニ漁に従事しはじめた。平成 27 年には、先代から船頭を引き継ぐが、当時の経営状況は水揚げ量の減少や多額の経費により厳しいものであった。

そこで、経営状況の改善のため、漁獲物の選別徹底や活出荷によるブランド化の取り組み、需給調整などの魚価向上に向けた取り組みを行ったほか、資源の有効利用や効率的な操業のために、水産試験場や水産研究・教育機構と連携した調査を開始した。

2. 研究・活動の概要

私が船頭になり、はじめに取り組んだのは、漁獲努力量の削減である。操業に用いる 1 連あたりのかご数を減らすとともに、漁獲物の選別徹底や基準に満たない個体の再放流を行った。その結果、1 操業あたりの水揚げ量は減少したものの、漁獲物全体の品質向上により kg 単価が上昇し、結果的に、先代と同程度かそれ以上の水揚げ金額を確保することができるようになった。また、規格に満たない漁獲物を再放流する際には標識を取り付け、再捕があった場合は記録を行った。再捕結果を放流月別に取りまとめたところ、11-5 月に放流された個体の生残状況がよい傾向がみられ、低水温期の再放流が有効であることが分かった。

また、加工・販売事業を立ち上げて入札に参加したり、仲買人からの需要聞き取りに基づいた水揚げ量の調整を行うことで市場単価の安定化を図った。

さらに、水産試験場や水産機構と連携しながら、漁場ごとの漁獲物のサイズ組成等のデータ収集（図 1）や、脱皮・成長等の生態、水深別の最終脱皮前後の個体の出現状況について調査を行ったところ、甲羅の硬い高品質のベニズワイガニが漁獲される水深や漁場などの傾向が明らかになり、操業の効率化につながる情報が得られた。

その他、船内に活魚水槽を整備して活状態で持ち帰り、サイズや容姿等について一定の基準を満たした個体にタグ付け（図 2）して出荷するブランド化の取り組み



図 1 船上での漁獲物の測定作業



図 2 ブランド化に向けて活ガニに取り付けた独自のタグ

を開始したことで、さらにkg単価は向上し、付加価値向上につながった。さらに、地元道の駅にある飲食店において私の漁獲したベニズワイガニを使った定食の提供など、地域への誘客素材として活用されるようになったほか、地元 YouTuber の協力を得て情報発信に取り組み、通販によるベニズワイガニの売上数も増加している。

3. 成果の概要

以上の取り組みの成果もあり、3,000 万円以下にまで落ち込んだ年間水揚げ金額が、船頭を引き継いだ平成 27 年以降、増加に転じ、近年では約 5,000 万円にまで回復した（図 3）。

また、漁獲物のkg単価の組成について見ると、水揚げ量全体に占める 1,000 円/kg以上の高単価な漁獲物の割合は 5%以下であったが、平成 27 年に私が船頭になり経営改善の取り組みを開始して以降、その割合は増加し、近年では 30%前後で推移している（図 4）。

1 回の操業で揚げるかごの連数や 1 連あたりのかご数を減らすなど、漁獲努力量を削減したにもかかわらず、水揚げ量・金額は増加傾向で推移している。また、選別前の漁獲物の甲副組成（図 5）は 100-140 mm主体で推移しており小型化の傾向はみられないほか、1 かごあたりの漁獲尾数も 20 尾/かご前後でほぼ一定で推移していることから、資源の状態は良好に推移していると考えられる。

4. 今後の予定

現在、漁に用いている 42 トン型の船は老朽化が激しく、代船の購入を検討している。代船については船舶検査料のかからない 20 トン未満船を候補とすることで漁業コストの削減を図り、漁業経営のさらなる安定を図っていきたい。また、より高品質な活

ベニズワイガニの出荷割合を高め、ブランド力強化と需要拡大を図るとともに、漁獲量の安定に向けて漁獲物の基礎データ収集を継続し、資源管理に努めていきたい。

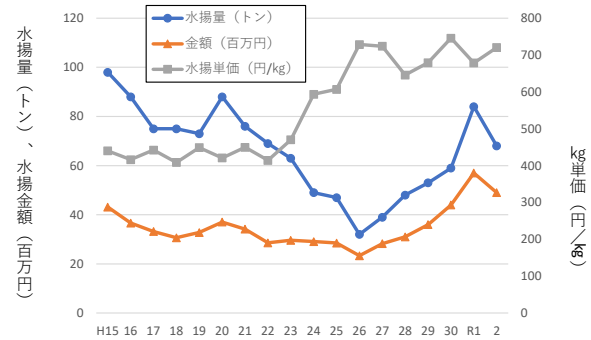


図 3 水揚げ量・金額およびkg単価の経年変化

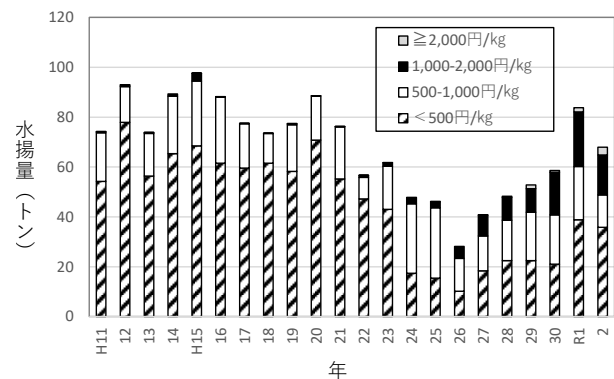


図 4 kg単価別水揚げ量の経年変化

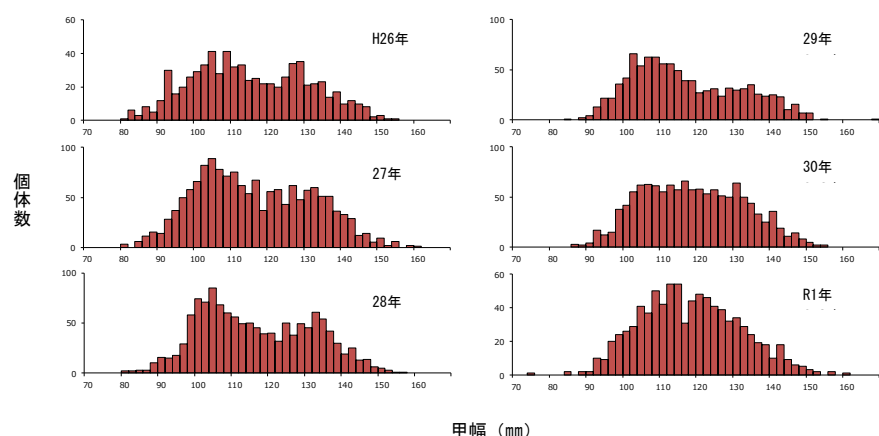


図 5 漁獲物の甲幅組成